

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公開番号】特開 2007-224380 (P2007-224380A)
 【公開日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-034
 【出願番号】特願 2006-48195 (P2006-48195)
 【国際特許分類】

C 2 2 C 21/06 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 21/06

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

上記空焼板の引張強さが 2 0 0 M P a 未満の場合及び耐力が 1 6 0 M P a 未満の場合には、成形したキャップにおいて所定の耐圧を得ることができない。一方、空焼板の引張強さが 2 7 0 M P a を超える場合及び耐力が 2 3 0 M P a を超える場合には、成形したキャップの開栓がしにくくなるという問題がある。上記空焼板の伸びが 5 % 未満の場合には、キャップ成形時に割れなどの成形不良が出やすくなり、また、1 0 % を超える場合には、開栓時にミシン目部が切れにくく、開栓角度が大きくなり、開栓しにくくなるという問題がある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

(比較例 1)

表 3 に示す本発明の請求範囲外である成分を有するアルミニウム合金鋳塊を、前述の実施例 1 と同じ条件で製造し、供試材 C 1 ~ C 6 を得た。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

【表 3】

(表3)

供試材 No.	化学成分 (個々、重量%)								化学成分 (合計、重量%)	
	Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	Ti	Mg+Mn	Si+Fe
C1	0.12	0.26	0.03	0.03	2.6	0.00	0.01	0.01	2.63	0.38
C2	0.09	0.17	0.01	0.50	0.7	0.01	0.01	0.02	1.20	0.26
C3	0.16	0.30	0.01	0.40	2.3	0.02	0.02	0.02	2.70	0.46
C4	0.13	0.28	0.02	0.20	1.1	0.01	0.02	0.01	1.30	0.41
C5	0.20	0.70	0.03	0.40	1.7	0.02	0.02	0.01	2.10	0.90
C6	0.04	0.13	0.01	0.30	1.8	0.02	0.03	0.02	2.10	0.17